

# 多様化する木材の土木利用

## — 四国の実例を語る —

定員 先着100名  
事前申し込み不要  
参加費無料

日時 平成30年3月5日(月)

13:30-17:00

場所 高知会館 (高知県高知市本町5丁目6-42)



13:30~13:35 開会挨拶  
13:35~14:45 基調講演  
(講演60分+質疑10分)  
14:45~15:00 休憩  
15:00~15:30 話題提供1  
15:30~16:00 話題提供2  
16:00~16:30 話題提供3  
16:30~17:00 総合討論

**CPDS**  
認定講習  
4ユニット

基調講演

加藤 英雄 氏 (森林総合研究所)  
「木製土木構造物の耐久性評価 - 劣化現象をどう捉えるか - 」

話題提供講演

松本 智江 氏 (愛媛県南予地方局)  
「木材を利用した治山ダムの経年変化」

中村 博 氏 (兼松サステック株式会社)  
「丸太打設による高知市新庁舎の液状化対策について」

林 聖淳 氏 (高知大学大学院総合人間自然科学研究科)  
「土木利用木材の健全性評価の一例 ~高知県の構造物を例に~」

本講習会は、土木学会  
認定の継続教育(CPD)  
プログラムです[3.3単位]  
認定番号  
JSCE18-0103



主催 四国土木木材利用研究会・高知大学防災推進センター・(公社)高知県土木施工管理技士会  
共催 (公社)土木学会木材工学委員会  
後援 (国研)森林総合研究所四国支所